

刊夕日三廿月六

常警每日新聞

定価 一部金五圓一ヶ月金五拾圓 郵費五圓
 廣告料 五字一圓 二字一圓 一行金五拾圓
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社
 電話 六三〇番

不斷煩惱の世界 (二)

眞 繼 雲 山

この故にわれは滅度を
 を目してのみ清浄の涅槃な
 りと思慕すべきでなく、別
 に生相のまゝ煩惱を断せず
 して涅槃を得るの道が無く
 ては叶はぬ。煩惱即菩提と
 は、正しく生る力としての
 煩惱がそのまゝ菩提の種で
 あるとして肯定すること
 あり、煩惱といふ迷ひなく
 ば、菩提といふ悟りはなき
 ことにて、蕾の花と開く關
 係であるゆゑ、煩惱と菩提
 とは素と一つのものであり
 これを迷悟一如といふて不
 可なし。生死即涅槃とは、
 父母所生の肉身のまゝにて
 淨土に安住することである
 生死といふ蕾なくば涅槃と
 いふ花の開くる道理はなき
 ことである。

聖道門において、自力修
 行により煩惱を拂はんと歸
 するの生きてゆく力の否
 定ではなくして煩惱に滞着
 する勿れとの工夫に外なら
 ぬ。

淨土門においては煩惱を
 煩惱として正しく眺めよと
 教へる、それは己れを罪惡
 深重、煩惱具足と認知した
 とき眺め得る。眺められる
 ものは罪惡の凡夫であるも
 眺める心もちは清浄な佛心

である、その佛心の宿りて
 はたらくにより眺め得ら
 れたのである。
 己れに缺點はない、凡夫
 ではないぞと頑張る男あら
 ば、それは全身をつくりが
 凡夫である故に、凡夫の姿
 を眺め得るだけの凡夫以外
 の明なきの致すところであ
 る、その心内に佛心の宿る
 ことなき凡夫の救はるゝは
 甚だ遠い。
 煩惱を断じなば固よりそ
 れは佛である。煩惱を断じ
 得ずとも、己が煩惱を煩惱
 と眺め得る佛心の宿りある
 ことを得ば、そこに救済は
 成立するこれをネハンとい
 ふことを得ば、それは正し
 く煩惱を断せずしてネハン
 を得るの道である。
 曲れる松を眞つ直ぐだと
 見るものがあつたらそれは
 邪見である。曲れる松を曲
 れる松と見るのが正見即ち
 悟りであるやうに、煩惱の
 すがたを如實に煩惱として
 眺め得ばそこにぼんぼん外
 の淨土への輸出の道が開け
 る。それは法律や道徳と違
 つたところの宗教の世界で
 あり、淨土門徒に取つての
 救ひ取られた安住の天地で
 あり、そこにはた念佛だ

けがある。(をばり)



澤 美 枝

喜び悲しみもない我に此の
 頃空は青い日ばかりつゞく
 廣い／＼大空の奥に隠する
 想ふ事もなく過す日あり
 物置に咲いた真白い名無草
 板戸のすきに光を求めて

さめし夢追廻はしたくない
 だがしら／＼としていつま
 でも消えぬ夢だ

朝 くらぼた

山はまろ／＼
 片岡の
 露が光る
 朝です

すがし青葉の
 香りが
 指にしみ入る
 朝です

ほんに春らし
 あげひばり
 豆が熟れてる
 朝です

外科

専門 X
 科線光
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一三九番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印
 菓子食器
 硝子壺
 其他各種
 松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)

赤い目に一滴でさくかゆ目 神教水 (新容器入)

堀 藥 局

川本 本場新茶入荷

一斤に付、四〇より 一、〇〇まで
 新家庭用ほうじ茶
 斤 六〇 四半斤 一五錢
 斤 四〇 斤 一〇錢

御家庭用
 京清水焼
 御前茶器
 番茶器
 組三〇錢
 在荷豊富

香味本位の本場銘茶を
 召上りませ

電三九六番
 大勝園

例年の通り 氷水 始めました

多少に拘ず御用命御引立の程願上ます
 特・アイスクリーム(山盛) 金十錢
 ・あづきアイス(同) 金五錢
 ・ミルクセイキ(同) 金十五錢
 製・ソーダ水 金十錢
 其他氷水各種

出前迅速 藤 寅

電話一四一番

正札堂の夏服

黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
 パンピースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
 ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ
 ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
 白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店

電話四三六

電話特別開通ノ申込受付

一 受付期間 七月 自十一日 二十日間
 一 設備費用 金貳百四拾圓(前年ハ四
 百圓ノ處減額トナル)
 一 申込用紙 當局ニ備付アリ
 一 其他詳細ハ當局窓口又ハ電話七〇
 〇番ニ照會ノコト
 昭和七年六月二十一日
 平 郵 便 局

さんま出漁期

制限規定實現 請願

年々濫獲の弊に陥つて

形体が漸次細小となる

關東北當業者團結

本縣漁業の重要な地位を占むる秋刀魚漁は年々濫獲の弊に陥りその産額が著しく阻害され形体が漸次細小となつて産額が減少する一方である爲め是れが出漁期を十月一日以後に制限すべく農林省令に規定され度しとの請願運動起り本縣の

るもの逐年激減を來し延いて漁獲は減少して遂に今日の如き悲惨なる状態を招致せし故に漁期を十月一日以後に制限し沿岸に洄游するを待ちて漁獲するは漁獲と共に産卵の機会を與へ産卵保護上寔に緊要事なりと信ずるものなり

一、産卵保護上の弊害
秋刀魚漁期促進の目的は遠洋に出漁して早期に漁利を收むるに在りと雖其産額は秋冬の候福島縣南の沿岸海區に洄游し來りて産卵を營するに因り維持せらるゝこと明なるを以て早期に遠洋に於て未だ成熟に至らざる稚魚を一舉に濫獲する結果は其の産卵場に到達して種族蕃殖の目的を完す

各濱を 始め隣縣茨城宮城及び岩手、青森、千葉等關東北當業者團結目的達成の爲め近く上京する事となつたが其の理由書は左記の如くである

數少く生産増進を防ぐるのみならずその風味世人の嗜好に適せざるため値低くして水産經濟上甚だしき不利益たるを免れず産卵保護の趣旨と相反すること大なり

三、價値の低下
秋刀魚を八九月の交漁獲するときは該魚が大量生産なる關係と氣温高きがために鮮度を保持することを得ず販賣市場の信用を毀損し需要を減殺するに至る

二、形体退化の弊害
秋刀魚の沿岸洄游を待たずして漁獲する結果魚体は概ね發育充分ならずして細小なるもの多く抱卵

平倉庫共同販米
出荷者一名もない
農繁期と米價安で

田村中學を 迎へて

田村中學を 迎へて

平農業倉庫の米共同販賣は去る廿日行はれる筈であつたが農繁期と米價安の爲め出荷者一名もなく遂に中止した

体育部の協議

高等女學校体育部にては本日午後一時より理事會を開

野球部にては來る二十六日田村中學校野球部を迎へ磐中グラウンドに於て試合を舉行する事になつたが田村中學は昨年來年の節平商を十七對四のスコアで敗かし磐中には十一對七のスコアにて敗けたが縣下中等學校大會に準々決勝迄摺り付けた戦績より見て悔り難く磐中平商が此の好敵手を迎へてどの程度迄戦ふか一般ファンは非常に期待して居る

平戸數割

町會

廿五日頃

平町では特別税戸數割の調査が廿四日頃で完了するの

軍艦上で

青訓講習

出席者限定

石城郡下青年訓練所にては來月二十一日小名濱入港の軍艦木會甲板上に於て開かれる青年訓練所主事並に指導員講習會の出席希望者は百餘名に達したが横須賀海軍人事部へ申込みたる處昨日艦内収容力の關係上左記二十五名が許可された旨通知あつたと

蒔市況

四倉市場 (廿二日)
△白藪 二千三百三十七貫
最高二十六圓八十錢 最低二十一圓二十錢 買馴二十五圓六十錢

市原醫院
平町田町
電話二一四番

專門 内科一般
住宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

福島貯蓄銀行 平支店
預金には税金がかかりません
御子様への爲めに貯金
平町田町(新道通り清水醫院跡)
電話三〇八番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

度量衡、計量器、吸入器、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

公判廷で 嘘萬八を 發證言し

三辯護士に告訴さるる

此程取調べの結果

偽證罪として收監

石城郡勿來町大字關田字關根二十三番地蛭田源右工門(三)は昨年十一月二十八日平支部公判廷に於て原告大平五次右工門及び大平陸四郎、被告植田水電株式會社の損害賠償請求事件の證人として取調べられたる際原告の有利に申立た證言が全々虚偽であつた事が判り被告代理人大嶺、安齊、千葉各辯護人に告訴され平檢事局に於て取調べ中の處昨日偽證罪として起訴され直ちに刑務所に收監された

負傷者に同情 無料で施術

古鍛冶町三十日雇業川島松吉(五)は去月中仕事場で誤つて腰部を打つたが五名の家族を抱へ傷の療養も受けずに居るのを聞いた田町のオキシヘラー治療者原田良介氏は同情の餘り毎日松吉方に出張し一時間づつの電氣治療を無料で行つて居るので附近の者より感謝されて居ると

銃後の田植に 村民擧つて應援

村民擧つて應援

石城町村長支會では目下の農繁期に際し在滿出征兵の遺族が手不足の爲め田植時を遅らす様ではと昨日伏見支會長より各町村役場に在滿兵遺族の田植には充分應援せられ度しとの通牒を發した

逃げた

女房を

探して平署へ

新潟縣岩船郡増野村加藤榮吉の妻キキ(三)は本年四月頃同家に失業の爲め寄食して居た茨城縣新治郡土浦町

貸金取立に行き

茶碗を投げ付け

女房の顔を傷く

石城郡泉村字小山佐藤權次(三)は去月廿八日午後七時頃小名濱町上遠野元吉の依頼で三十五圓の貸金取立の爲め同僚三名を引連れ湯本町字三國雜貨商竹田賢方を尋ね竹田不在の爲め妻のヒサヨに返済を交渉した際佐藤はヒサヨの顔面に茶碗を投げ付け全治三週間の傷害を與へたので本日平署に告訴された

お守が立話中に 幼児誤つて溺死

お守が立話中に

石城郡平窪村字屋越三七農吉田信也の長男一治(四)は昨廿二日午後四時頃家人の田植場所から同居人星ヤイ(八)に連れられて歸宅の途中自宅附近でヤイが隣家の

危く火事

女房洗濯中に

石城郡湯本町字天王崎一居住職山下田良介の妻コウ(七)は昨廿二日午前十一頃自宅物置内に於てガソリンに火を起した儘自宅裏にて洗濯中ガソリンの火が物置の藁に燃え移り正に大事に至らんとしたのを附近の者と協力消止めた

平映畫界

平 館 日活時代劇小川隆主演「恩愛五十兩」日活現代劇神田俊二主演「機關車」日活現代劇入江たか子主演「淺草悲歌」日活時代劇ナンセンス海江田讓二主演「猿飛佐助諸國探査」

平町人事

△長橋町三〇高野新助氏五女豊子
△古鍛冶町一八宮本新之丞(二六)仙臺市土樋二八五内田多喜子(二三)

月星

品質は斯界の王
名入れ金具付きの
サーピス
平田町
大塚運動具部
電話七七番

明日のラジオ

廿四日

今夜は北東の風曇り小雨模様明日は北東の風朝氣よくなりました

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
管絃樂 東京ラヂオオーケストラ指揮平野主水
後六、二〇 コドモの新聞
村岡花子
後六、二五 カレントトピックス
ハロルドパーマー
後七、〇〇 講演

後八、〇〇 新内「基大平記白石新」富士松都譽美
後八、三〇 運動競技 第十回國際オリムピック派遣選手レスリング送別試合状況(日比谷公會堂より中継)
後九、〇〇 連續講談「加賀評定織田大炊第一席」旭堂南陵

明日の部

後九、三〇 時報
ユース 氣象通報 番組預告
前九、一〇 料理献立「豚肉の調味醬油漬」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座「國民の保健と癩病」子爵三室戸敬光
後一〇、五五 狂言と長唄
岡崎公會堂京都放送局開局祝賀會場より中継
後二、〇〇 婦人講座「物を積む話」石井滿
後六、〇〇 子供の時間

童話劇「加藤清正」名古屋童話劇協會
後六、二〇 コドモの新聞
村岡花子
後六、二五 カレントトピックス
ハロルドパーマー
後七、三〇 「京都放送局開局記念放送」講演將來の達觀(京都帝國大學總長理學博士新城新藏(獨唱)獨唱柳兼子(映畫レグジュール)日活オールスターキアスト
後九、〇〇 連續講談「加賀評定織田大炊第二席」旭堂南陵

第三校童話會

平第一小學校では本日午前十時半

運動靴は……

品質は斯界の王
名入れ金具付きの
サーピス
平田町
大塚運動具部
電話七七番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫

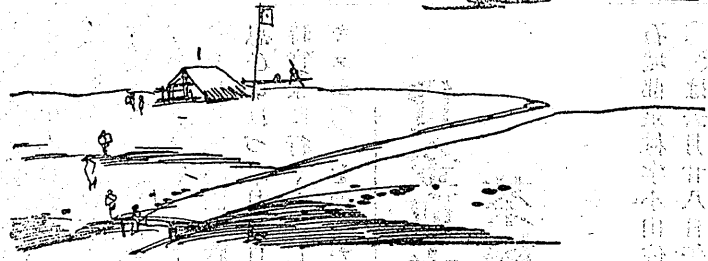
第八十三席

眞庭念流達人櫻井五助

要介林藏の選遊

秋山要介は逸見多四郎と櫻井五助に別れ武州崎西の俠客相の助の許に來た。茲に自分の弟子で横沼の新太郎當時岸丈右衛門といふ者が居る。是は以前博徒であつたが秋山に就て劍術を學び目録を取つたほどシテ見れば腕も出来る、久々にてこの人々にも會ひ十日ほど遊んでゐたが我儘な秋山とてもう此處も倦たと丈右衛門を伴れて崎西を出て江戸に十日あまり居て是から東海道を上り沼津まで來るとフト思ひ出したは十月十一日から十三日に互る甲州身延山の御會式、この日には關八州の顔役が集つて大博場が立つこれへ行つて見ようと岩淵まで來た、あれから富士川に沿うて北へ行けば身延山へ出る

要「丈右衛門もう正午だ食事をして行くかな」
丈「それが宜うがせう」
と駿河屋といふ小料理屋に入り草鞋を脱つて二人は富士川を見晴す表座敷で酒を飲んでゐると、衝立を仕切つてその後で食事をしてゐた三人伴れの旅人がある夫ハット目をつけた秋山が



間郡赤尾村の林藏苗字を山崎といふ
要「丈右衛門、林藏が此處に居るぞ」
丈「これは赤尾村の人、久しくお目にかゝりません」
林「イヤこれは珍らしい、オイ周作、藤藏此處に先生がお在なすつた」

周「これは先生久々にてお目通りをいたします、相變らず御繁昌で御芽出度うございませう」
要「貴様も達者で芽出度ナサア林藏此方へ參れ、一杯やらう」
林「御馳走さまでございませう」
要「親父は無事か」
林「ヘエ、達者でございませう、今度は親父に苦勞をさせました」
要「なんだ苦勞をさしたと貴様はやくさものに似合はぬ親孝行だ」
林「ヘエ、どうか年老つた

要「御存知ないかと」
林「ヘエ、原の笹山で先月の十七日高萩の猪之松を斬りましてございませう」
要「なんだ猪之松を斬つたとそいつはゑらい事をしたナ武州高麗郡高萩の猪之松は關東一と云はれた大親分貴様より二三枚上だ、どうして猪之松を斬つた」
林「それに就てはお話申すこともございませう、まア先生お聞きなすつて下さいませう」
要「直した林藏か」
林「わたくしの繩張中村の權現山へ猪之松の若い者が盆を敷ましてございませう、それをわたくしの子分坂戸の五助權兵衛鴻の集の次郎八が若い者を伴れて押して行き賭場を打毀し、その戻りに猪之松の家を叩き毀して引揚げました、此時猪之松は上尾の宿の山城屋に馴染の女を相手に遊んで居りました、此事を聞いて直に引返し今度は猪之松が自身に權現山へ出張つて盆を敷きました、これはわたくしを誘き出すつもり、ところが中村の名主が組頭を伴れて賭場に來て此處に盆を敷かれては赤尾から人数が出て大喧嘩になるそれでは迷惑をするからと引拂つてくれと恚う申したさうでございませう、そこで權現山の賭場をしまつて今度は原の笹山へ引移り大きな博奕を拵へました、先生も御存知でございませうが、わたくしの繩張の内原の笹山は大切な場所、といふは親父の磯五

親父には心配をさせぬやうにと心懸けては居りますがこんな渡世をして居りますと苦勞をさせるやうな事も出来まして」
要「ウーン、どんな事をした」
林「先生は御存知ございせんか」

郎が血を流して拵へ上げた所でそれをわたくしが譲られました、其處へ猪之松が盆を敷かれてはこの林藏の男が立ちません」
要「ウーンそれで斬つたか、シテ貴様の率ひて參つた人数は」
林「子分にも親分にもわたくし一人でございませう」
要「そいつはゑらいナ、定めし猪之松の處には大勢若い者も居つたであらう」
林「ヘエ脇差の百五六十本もございませう」
要「そこへ一人で斬込むとは好い度胸だナ、能く猪之松を殺した、あゝ氣に叶つた」
と大層賞めました


貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミガヨ電氣
ランブ特約店
高橋時計店
平町橋小路

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
込次第規則書進呈

磐城セメント會社特約店
大倉屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は生命なり

初夏の海は……
トテモはがらかです
新緑と情熱の……
ローマンスと郷愁の海邊へ……
一日の清遊を
お試しになりませんか
尼子タクシー
電六四〇番

玉屋洋品店
平町四丁目 電話六五六番



吉田眼科病院
平町三丁目 電話六八八番